

| | |
|---|--|
| <p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：石丸雄也（いしまるゆうや）30歳 営農地：神戸市西区伊川谷町 就農区分：親元就農</p> | <p>農業経営の状況（現在）</p> <p>栽培品目：いちご（高設栽培） 農地：50a（借地50a） 施設：本田ハウス2棟（12.8a 20.0a） 労働力：本人、妻、パート8名 栽培品種：おいCベリー、紅ほっぺ、等 販売先：スーパー、直売所、自家直売、仲買、ケーキ店、ホテル、パン店など</p>  <p>植え付けた苗を丁寧に観察する石丸さん</p> |
| <p>就農から現在まで</p> <p>2014年～ 前職を退職前から休日に研修 2015年4月～2016年3月 研修事業を活用して1年間、森本猛典氏のもとで研修 2016年6月 認定新規就農者認定 中古ハウス3aを移設して育苗開始 2016年10月 青年等就農資金でハウス12.8aを新設し栽培開始（研修後すぐ栽培を始めるため、融資のみで建設）。 2019年～ 森本猛典氏ハウス（伊川谷町前開20a）を引継ぎ、規模拡大</p> | <p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業は全て自分で考え、計画して、仕事に取り組めること。 ・自身の考えで色々な挑戦ができること。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の栽培はマニュアルのとおりには行かず、立地・品種に適した栽培管理を自分で見つけられるまで苦労した。 ・気候的にもいちごの栽培管理は難しくなっている。 |
| <p>農業をめざした動機・きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業志向があったこと、非農家ながら野菜は子供のときから栽培していた。 ・押部谷周辺のハウスを見て、産地的にイチゴを志向（特にイチゴが高く売れ経営的に有利という意識はなかった） ・勤めながら休日に親方（森本さん）のもとで研修し、準備して就農を決めた。 | <p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチゴは年に一作しか穫れない作物で一作の情報収集・整理は非常に大切。それを経営に活かせる力が必要です。 ・施設投資が大きく、経営開始時に費用を負担できる資金力も必要です。 ・量を確保して、自分の販路を作るため味を出せる技術が求められる作物です。 |